

資格よりも
間口の広い人間に



SHINICHI KAKIUCHI

かきうち しんいち
トモニホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO

昭和42年 香川大学経済学部卒業
同 年 徳島銀行入行
平成3年 徳島銀行人事部長兼総合企画部付部長(秘書室長)
同 年 徳島銀行取締役人事部長兼総合企画部付部長(秘書室長)
平成5年 徳島銀行常務取締役人事部長
平成9年 徳島銀行専務取締役人事部長
平成10年 徳島銀行専務取締役
平成11年 徳島銀行専務取締役総合企画本部長
平成15年 徳島銀行取締役頭取
平成17年 徳島県経営者協会会長
平成22年 トモニホールディングス社長兼CEO
平成23年 徳島銀行代表取締役会長

ト

モニホールディングスは、2010年に香川銀行と徳島銀行が経営統合して誕生した共同持ち株会社です。ともに支え合い、地域とともに、お客さまとともに歩む新しい形の地域金融グループを作る、という決意が込められたこの統合は、両行にとって「経営基盤を強化し、幅広い金融サービスを低コストで提供することで地域を支え、さらに取引先や活動の場を外に広げていく」ための「攻め」の要素でした。

「変化することに恐れはありません。『以前の通り、去年の通り』にやるのでは面白みがないが、そこに付加価値を付けることで仕事をやる楽しさが生まれると考えています。」

そう語る柿内CEOは、その言葉の通り徳島銀行にパソコンを他社に先駆けて導入したり、新しい人事制度を作り上げたりと様々な変革を行ってきた経歴の持ち主です。明快な説明と、企業との付き合いから知識を吸収していく好奇心、文系から理系にまで多岐にわたる話題の豊富さから、取引先の社長に「技術系の出身ですか?」と聞かれることもあり、実は文系・経済学部出身。「経済は数式で説明した方が分かりやすい」「論理の世界」なんです。香川大学で学んだ大きな成果のひとつはこの論理思考です。

サークルでは、邦楽部「竹友会」と「自動車部」に所属。論理思考と並ぶ大きな取組と感ずるのは「お金がない物がない中でどのように工夫するか」という「大が身についた」自動車部での活動だったそうです。

「免許を持つのも珍しい時代だったため、私が入部した時には20人以上の部員に対して車は3台という状態でした。そこでOBや企業、ディラーに「協力をお願いし、学長にも乗っていた車を譲っていただけるように交渉した結果、卒業時には部の車を1台に増やすことができました。強征資金を集めるスポンサー探しやガソリンの調達でも交渉力が磨かれました。ありがたいのは連任でどこへ行っても必ずどこかに先輩がおられたこと。若いOBでも、大人数でやって来た私たちの食事の世話をしてくださったものです。」

熱意と誠意を持って「社会」と交流した経験は、自身のビジネス人生に大きな影響を与えることになったといいます。

「銀行員としての醍醐味は、自分のお客様である企業と、一緒に努力し、その企業が成長することにあります。」

業務上異動が多い銀行員に「前にいた支店、その前にいた支店のお客様と、今何人お付き合いが続いていますか?」という質問を投げかけるのも、多くの出会いに学んだ経験があつてこそ。

OBとして、また人事担当者として学生に接してきた柿内CEOは、今の学生にどんなことを願っているのでしょうか?

「企業は広い知識を持つ『エンラリスト』を欲しています。『就職にはどんな資格が必要か』と学生に質問されることがありますが、資格は後から身につけられるものですし、テクニクだけでは相手に響きません。それよりも幅広い興味を「間口の広い人間」になって、色々な方とお付き合いできる力を育ててほしい。日本の歴史と文化を大切にしながら新しい物を取り入れ、ためらわず改革を行える人物になってください。」

トモニホールディングス株式会社 代表取締役社長兼CEO
柿内 慎市

CORPORATE INFORMATION



トモニホールディングス株式会社
香川県高松市亀井町7番地1